

東大阪市民美術センター企画展

おに

さ か ぐ ち ま ち こ

か た

阪口真智子の鬼語る

展



心がおれそうになった時

いっしょに喜び共に泣いてくれる仲間がほしい時



会いに来て下さい！



「まあええやんか」

子供のころは何にでも夢中になれた。
学校に行くのを忘れて道端のダンゴ虫と遊んだ日。
捨て犬のために秘密基地をつくって餌やりに通った日々。
ちんどん屋さんのあとをついて行って迷子になってしまったこと。
数え上げるときりがない。
大人になってこんなことをやっている、
普通の社会ではつまはじきにされてしまう。
唯一許されるのは創造の世界。
絵を描いて、立体を組み立て、音楽を奏でる。
こんな「ものづくり」の世界の中では、
逆に子供の心に戻ることが大切だ。
子供だった頃を思い出し、自由な発想で何かを生み出す。
だれもがみんなこんな世界が持てたなら、
日々の暮らしや生きることがもっともっと楽しくなるに違いない。
私の鬼さんたちがそんな世界の案内役をかってでて、
あなたに何かを語りかけてくれることでしょう。
この展覧会であなたと鬼さんたちの
素敵な出会いがありますように。

阪口真智子



会場：東大阪市民美術センター2階 第1展示室

入場無料

会期：平成27年 11月 10日(火)～15日(日) 午前10時～午後5時まで

(14日はナイトミュージアム開催により午後9時まで開館)



よく聞かれます。「なんで鬼なん？」

阪口真智子は真っ正直でなんでも本音でずけずけ話します。

勢い余って人に誤解を与え、批判をまねくことだってあります。

私が言うとかあんのですが、鬼が言うのは許せるんです。

鬼は想像上の生き物で、人の心の中に住んでいるかもしれませんが、現実の世界には存在しませんから。

そんな鬼を悪者扱いして、いい子ぶってる人間は許せません。

そんな人間たちに対して、鬼たちに思いのたけを語ってもらったのが、「阪口真智子の鬼語る展」です。



「でかいけつ」



「どんなに高価なパンツより」



「まだこれだけ鬼」

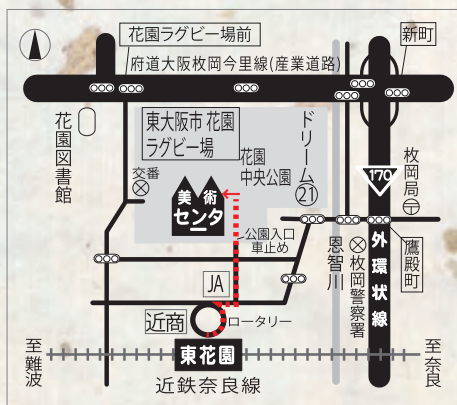


「おまえのおねがい聞くたびに」

阪口真智子 プロフィール

1952年東大阪生まれ。

小学校の卒業作文「未来のゆめ」で画家になることを志す。親の希望で薬学の道に進むも絵を描くことをあきらめず、生業の傍ら創作活動に従事。1975～1976年さまざまな公募展に出品し受賞多数。1977年より公募展には出品せず、1年に2～3回のペースで個展を中心に作品を発表。墨を基調とした日本画の材料を使い、独自の境地で「鬼」を描きつづけ現在に至る。



東大阪市民美術センター企画展

阪口真智子の鬼語る展

入場無料

平成27年11月10日(火)～15日(日) 午前10時～午後5時まで(14日は午後9時まで開館)

東大阪市民美術センター

指定管理者:公益財団法人 東大阪市民文化振興協会
<http://higashiosaka-art.org>

〒578-0924 東大阪市吉田6-7-22 tel 072-964-1313 fax 072-964-1596

近鉄奈良線「東花園」駅より北へ徒歩約10分 花園ラグビー場南側